

コンプレックスと「サヨナラ」を

「気分転換に」と母に連れて行ってもらった、はじめてのエステサロン。そこで出会ったスタッフさんの姿に心を打たれ、この業界に入ることを決めました。学生の頃に目指していたのは弁護士でした。しかし、制度の変更から進路も変えざるをえなくなり断念。学生生活も終盤で今後について迷っていたときに、バイト先のお客さまから「うちの会社で、保険営業をやらないか？」とお声がけいただき、働き始めたんです。

当時のバイト先は大手の飲食チェーン店でした。接客に関する知識や想い、メンバーのマネジメントまで携わらせていただいております、良い経験を積ませていただいたと、今でも思っています。そんなバイト先をきっかけに入社した会社でしたが、過酷な勤務体制や都会でのセカセカした生活が自分には合わず、退職。

The Philosophy of Yumezukuri Tohoku

人生に『夢』づくり、ゆめ溢れる『人』づくり

もともと私は容姿にコンプレックスがあり、自信を持っていませんでした。エステサロンでならその悩みを解消できると知ってはいたものの、勇気がなく「行ってみよう」と決意できずにいたんです。しかし、いざ母の誘いで足を踏み入れ、キラキラとしたスタッフさんの姿を目の前にした瞬間、不安は吹き飛んでいきました。スタッフさんは私と同じくらいの年齢だったのですが、肌もちろん綺麗でしたし、堂々と話していて……。凛とした振る舞いに感動を受け「この人のようになるために、コンプレックスとさよならしたい、そして一緒に働きたい」と思うようになったんです。

そのサロンに就職し7年ほど勤務したのち、育休を経てThe Smile Lineに転職しました。

子育ても両立しながらですが、代表や一緒に働く上司、スタッフの方々の理解が深く、こんなにも働きやすい職場は他にはないと思います。子どもが熱を出し急遽早退することになったときも、「謝らないで。しっかりお子さんについてあげてください」と優しく送り出してくださいました。そんな思いやりあふれるサロンで働く今、お客様と接する中で大切にしているのは、施術の時間をいかに価値のあるものにできるか？といった想いです。

かつての私が経験したような、コンプレックスとサヨナラして自信を得ること。そして、新たな理想・夢との出会いや癒しの時間。そういった価値を、お客様にご提供していきたいんです。

今、私がここで働いているのは、学生からこれまでの出会いが積み重なって実現した運命だと思っています。コンプレックスを抱えていた私だからこそできる、お客様の目線に立った接客をこれからも追求していきたい。

なかなか自分を認められずにいた私も、The Smile Lineに来てから少しずつ自信を持てるようになりました。だからこそ、お手入れさせていただいたお客様の笑顔や、自信のついた表情を見れたときには、強いやりがいを感じられています。

いつかはThe Smile Lineが、秋田県のすべての女性から選ばれるサロンになるよう。お客様との出会いを大切に、ファンを増やしていきたいですね。

